

2010. 3. 11

■放免になったとか。調圧槽及びポンプ室の電柱の占用料金について問い合わせがあった。■が不在時に■、■と赤井谷復旧について協議し、施工を開始したので口を出さないよう要望する。それについては口出ししないと約束した。

平成 21 年 12 月 10 日 ■、■来庁 ■、■、■、■、■対応
土採取の変更届を提出した。図面に一部不備があるため明日差し替える。

平成 21 年 12 月 11 日 ■、■来庁

図面差替え仮受領（不備につき再度提出を指示）盛土高を 15m 以内にするよう指示

平成 21 年 12 月 14 日 現地調査 重機 2 台中段に埋まっていた。作業していなかった。

同日 ■、■来庁 図面訂正（土量）建設課受領

平成 21 年 12 月 15 日 ■から電話連絡 ■との間で工法等（作業の進め方）に若干のズレがあるとのこと。■によると金を出すのは■だからあまり強いことは言えないので、■に任せざるを得ないと言っていた。当方からは、防災工事の完了を指示した。（下流部の沈砂池）

同日 ■より電話連絡 別件（多賀）で 18 日に会社を訪問するので、図面の差替えはそのときでいいと回答した。

平成 21 年 12 月 18 日 ■訪問（■、■、■、■、■、■）先方（■、■、■、■）

別件（多賀の水道用道路）で訪問したが、赤井谷の件も協議した。差替図面受領（建設課）重機は中段で待機中、ここ数日ほとんど土砂の搬入はない。東伊豆町の■からヘリコプター、建設機械を購入したのでクレーン車を使って固化材を下流部に下ろすと言っていたので、引き続き防災工事をするよう指示した。

平成 21 年 12 月 22 日 現地調査 状況確認

平成 21 年 12 月 24 日 ■、■来庁 最終図面差替え完了

平成 21 年 12 月 25 日 現地調査 状況確認

平成 22 年 1 月 4 日 ■より電話連絡 6 日より作業を開始すると連絡あり、■は誰脱した模様（小田原の現場の工事代金未納が原因とか？）別のオへに固化材は依頼して作業に本格的に着手するとのことであった。

平成 22 年 1 月 19 日 現地調査 固化材を投入していた。攪拌作業を確認した。

平成 22 年 3 月 4 日 現地調査

平成 22 年 3 月 10 日 逢初川 濁り確認

平成 22 年 3 月 11 日 ■来庁 工期を 6 月末まで延長したい。沈砂池の緑化来月予定している。作業は 21 日まで中止

平成 22 年 3 月 18 日 ■から連絡 昨日地元漁師から濁り及びダンフの苦情ありと連絡受ける。一課内で協議（23 日に■と協議予定）を伝える。

平成 22 年 3 月 24 日 現地調査（現状維持）

平成 22 年 4 月 5 日 氏名不詳者から苦情 伊豆山交番付近でダンフが違法駐車（建設課に任せる）

平成 22 年 4 月 8 日 ■、■来庁 工期延長について建設課と協議（書式渡す）

平成 22 年 4 月 12 日 ■より電話連絡 工期延長届書類に押印を拒否している。（■が待ったをかけていると情報提供あり）

平成 22 年 4 月 19 日 ■より電話連絡 工期変更届に■の印を貰ったので後日提出する。

平成 22 年 4 月 20 日 ■、■来庁 工期変更届提出 7 月 8 日まで C 工区横の盛溢し土も埋土に使用すると報告受ける。

平成 22 年 4 月 22 日 ■、■来庁 工事中断地の対応を口頭で依頼するも金策に奔走しているので無理かもしれないと回答得る。

平成 22 年 4 月 23 日 ■より電話連絡 建設課で変更届が受理された連絡があった。明日 7 台良